

■ 他区における環境基本計画改定の動向（東京2020大会に向けた施策が記載された区）

参考資料②

区名	計画名称	改定時期	望ましい環境像等	基本目標等	改定のポイント	東京2020大会に向けた施策の有無
港区	港区環境基本計画	平成27年3月	歴史ある自然をみなでなくみ、暮らし、働くことを誇りに思える国際環境都市 みなと	基本方針1 安心して暮らせる低炭素・省エネルギー社会の実現 基本方針2 協働による循環型社会の形成 基本方針3 健康で安全に暮らすことのできる生活環境の保全 基本方針4 快適で魅力ある都市環境の形成 基本方針5 自然や生きものと共存できる、質の高い緑と水の保全・創出 基本方針6 環境保全に向けた多様な主体の行動と協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> 「低炭素まちづくりの推進」、「生物多様性への理解の浸透」、「多様な主体との情報共有と連携・協働による活動の促進」を新規で追加。 	<ul style="list-style-type: none"> 大会における施設建設に際しては、建築物の低炭素化に配慮するよう、関係機関等に働きかける。 各種競技、イベントはもとより、関連する事業活動等において、ごみの減量と資源化の取組により、可能な限り環境負荷の低減に努めるよう、関係機関等に働きかける。 国内外からの観光客などの増加が見込まれる中、これまで以上に地域や様々な主体と連携した美化活動等により、誰もが快適に過ごせるきれいで清潔なまちづくりを促進する。
文京区	文京区環境基本計画	平成29年3月	ひとつが繋げる文の京の誇れる“あした” ～環境共生都市ぶんきょう～	1.未来へつなぐ脱炭素のまち ～CO2削減で地球温暖化防止～ 【低炭素】 2.資源を有効利用し、ごみの減量に取り組むまち 【資源循環】 3.健康で快適に暮らせる安全・安心なまち 【快適・安全】 4.自然とともに暮らし、歴史・文化の息吹を大切に受け継ぐまち 【自然共生・歴史・文化】 5.みんなが一体となって環境を守り、育てるまち 【連携・基盤づくり】	<ul style="list-style-type: none"> 文京区の環境における特性といえる「歴史・文化」、「水」、「緑」を軸に、「ひと（区民等）」が、環境共生都市として誇れる「文の京」を、未来につなげていくまちとして目指し、低炭素、資源循環、快適・安全、自然共生・歴史・文化、連携・基盤づくりの全5分野ごとの5つの基本目標に向けて施策を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、水素利活用等（燃料電池自動車、水素ステーション）の先進的な技術の導入を含むまち全体の低炭素化（スマートシティ）実現に向けた、新たな施策の可能性を探る。
台東区	台東区環境基本計画（中間改定版）	平成28年3月	基本理念1 今ある環境資源を活かしながら よりよい環境を創造し、次世代へ継承していきます 基本理念2 生活様式を見直し 地球環境に配慮した「環境都市」をめざします 基本理念3 地域を基盤に区民・事業者・区が協働して計画の実現に取り組んでいきます	基本目標1 緑や水辺に親しめ、うるおいがあり、健康で快適な生活環境をつくります 基本目標2 ヒートアイランドを抑制し、足元から地球温暖化対策に取り組めます 基本目標3 区民・事業者・区が力を合わせ、環境を学び・守り・育てます	<ul style="list-style-type: none"> 「東日本大震災の発生」、「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催」、「水素・燃料電池戦略ロードマップ策定」等の社会情勢の変化を中間改定で反映。 「花でまちを飾り、うるおいのある空間を創出する」、「水素を活用した更なる環境負荷の少ない都市を目指す」、「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、環境配慮を更に推進する」の戦略プログラムを新規に設定。 	<ul style="list-style-type: none"> 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、環境配慮を更に推進する。 国際文化観光都市として培ってきた「おもてなし」の更なる向上、国や都と連携した低炭素化の推進、緑化等によるヒートアイランド現象の緩和等、本大会を大きな契機として、区民や来街者が誇りと愛着を持って、次世代に継承できる都市環境づくりを進める。
墨田区	第二次すみだ環境の共創プラン	平成28年3月	みんなで創る環境にやさしいまち「すみだ」	基本目標1 温室効果ガスの排出を抑制したスマートエネルギーのまち 【墨田区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）】 基本目標2 身近な緑と水辺に親しみ、生きものとふれあえるまち 基本目標3 資源循環型社会の実現をめざすまち 基本目標4 良好な生活環境が確保され、安心とやすらぎが実感できる住みよいまち 基本目標5 環境活動を実践する人が育つまち	<ul style="list-style-type: none"> 施策では、地球温暖化による異常気象への適応策や温室効果ガス対策として有効な水素エネルギーの普及に向けた対策を実施する。 優先的に推進すべき施策として重点プロジェクトを設定し、緑感あふれる空間の創造や、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、墨田区を訪れる多くの方々に「環境にやさしいまちすみだ」をPRを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園や街路樹、水辺などをはじめとする水と緑のネットワーク形成を図り、「水と緑が身近に感じられるまち すみだ」の演出を行っていくほか、東京スカイツリー や両国技館周辺の景観まちづくり推進、ごみのポイ捨て対策、クリーンキャンペーン等の推進等、清潔感あふれるすみだらしい景観形成を図る。 開催時期が夏季にあることから遮熱性舗装による道路整備や公共施設の緑化等のヒートアイランド対策、まちかどクールスポットの設置を推進する。 水素エネルギーを活用した環境に優り災害強いまちづくりの実現に向けて、取組を進める。

区名	計画名称	改定時期	望ましい環境像等	基本目標等	改定のポイント	東京2020大会に向けた施策の有無
江東区	江東区環境基本計画	平成27年3月	水と緑豊かな地球環境にやさしいまち	柱1 地球温暖化・エネルギー対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピック・パラリンピック開催による環境負荷の少ない低炭素まちづくり、災害対策による環境の視点から考えた災害に強いまちづくりを新たな視点として追加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピック・パラリンピックを契機とした、環境負荷の少ないまちづくり及び災害に備えのある安全・安心なまちづくりを目指す。 ・「オリンピック・パラリンピックまちづくり基本計画」等に基づき、国、都、事業者と連携して再生可能エネルギーやエネルギーの面的利用等の先進的な取り組みを推進する。 ・オリンピック等を見据えて、区外からの観光客の自転車活用機会を拡大する。 ・オリンピック・パラリンピック関連施設の建設など、区内で予定されている開発事業での低公害型建設機械や低燃費車両の使用を求め、可能な限り環境負荷を低減するよう都に要望する。 ・オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、区民、事業者、区の各主体が連携・協働した取り組みを行い、国や都等と広く連携体制を築き、「環境先進都市 江東」の実現を目指す。
				柱2 循環型社会の形成		
				柱3 自然との共生		
				柱4 環境に配慮した快適なまちづくりの推進		
				柱5 安全・安心な生活環境の確保		
				柱6 環境教育及びパートナーシップの推進		
大田区	大田区環境基本計画 (後期)	平成29年3月	環境と生活・産業の好循環を礎とした持続可能で快適な都市	基本目標A 環境と産業の調和の実現と好循環の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に取組む視点としては、区民等、事業者、区が一体となって進めるため、環境保全の姿勢や使命感として「環境マインド」の更なる充実、拡大を図る。 ・東日本大震災や熊本地震などを踏まえ、災害時に有害物質の流出を防止する事業所の危機管理対策、公共施設の太陽エネルギー等の災害時の活用方法等、「快適で安全な暮らし」に向けた取り組みを、環境の視点から見直す。 ・産業分野の取り組みを推進するための主体間連携の強化や新たな仕組みの整備を新たに追加。(事業者・行政の連携強化) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催をきっかけとして、世界に開けた国際都市としてのさらなる発展を目指す。 ・2022年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、生物多様性に関連した環境整備や環境学習等の取り組みを進める。 ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたアオスジアゲハをシンボルとした「美しいアゲハチョウの舞うまち」を目指すために「おもてなしのまちづくり」として、バタフライガーデンやバタフライコーナーなどの環境整備や環境学習等の取り組みを進める。
				基本目標B 快適で安全な暮らしの実現		
				基本目標C 低炭素社会の構築		
				基本目標D 自然共生社会の構築		
				基本目標E 循環型社会の構築		
				基本目標F 持続可能な地域づくりのための学習と参加の場の創出		